

令和8年度
伊豆市議会 ～みんなで語る会～

報告書

5/19

火



中伊豆支所3階
第6会議室

5/20

水



生きいきプラザ
1階第1・2会議室

5/27

水



土肥支所 4階 第1・2集会室

5/28

木



天城湯ヶ島コミュニティセンター2階
多目的ホール

令和8年5月
伊豆市議会

令和 8 年度 伊豆市議会 議会報告会実施報告

1. 開催日時・会場・参加人数

- ① 5 月 19 日（火）中伊豆支所 3 階 第 6 会議室 10 人
 - ② 5 月 20 日（水）生きいきプラザ 1 階 第 1・2 会議室 22 人
 - ③ 5 月 27 日（水）土肥支所 4 階 第 1・2 集会室 12 人
 - ④ 5 月 28 日（木）天城湯ヶ島コミュニティセンター 2 階 多目的ホール 10 人
- ※時間は全日 19 時～20 時

2. 主催

伊豆市議会 議会改革推進特別委員会

3. プログラム

- (1) 開会
- (2) 議会改革推進特別委員会委員長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 日程説明
- (5) 市長・市議会議員の同時選挙を考える（プレゼン説明）
- (6) ワークショップ
- (7) グループの意見発表
- (8) 議長お礼の言葉
- (9) 閉会

4. 当日配布資料

「市長・市議会議員の同時選挙を考える」パワーポイント資料

(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 5 月 19 日	開催時間	19：00～20：00	
実 施 場 所	中伊豆支所第 6 会議室			
参 加 人 数	10 名			
出 席 議 員	尾垣 和則	飯田 大	浅田 藤二	小川 多美子
	黒須 淳美	鈴木 優治	下山 祥二	波多野 靖明
	間野 みどり	青木 靖	三田 忠男	小長谷 順二
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答 3. 1・2 班に分かれて参加者によるワークショップ 4. ワークショップ意見発表 5. アンケート回答			
質 問 内 容	・ P5 任期を合わせる 4 つの手法はもう一つあるのではないかと ・ P3 同時選挙の提案が市民の声からというのは本当かと ・ P6 自主解散のハードルについての確認 ・ P7 同時選挙のメリットとして本当に投票率の向上につながるのか			
参加者意見	中伊豆 1 班意見等（発表者 尾垣・三田議員） ・ 市長選挙の時に同日選挙の話がでる ・ 市民の関心事である ・ 同時選挙の検討については盛り上がっていないので説明を尽くして欲しい ・ 同時選挙へ向けたスタートをよくきってくれたと思う ・ 投票率が上がるというのはその時の選挙戦内容による。沼津市は市長選挙時に補欠選挙を同時に行ったが投票率は下がったので同時選挙を行っても投票率は上がらないのでは ・ 主催する議会が説明会を行うのはおかしいと思う ・ 市民アンケートでホームページ等をもっと活用して市民の声を広く集めて欲しい ・ 投票所へ足を運ぶのが重荷に考える人がいるのでネット選挙を検討しては ・ 選挙経費 30%削減をもっと PR し、知ってもらう事が大事 ・ 今年の 3 月議会の一般質問である議員の音声が途切れているのでその理由の注釈が必要だと思う。			

中伊豆 2 班意見等（発表者 飯田議員）

- ・ 広報等によると議員内から同時選挙の件が発案されているのではないかな
- ・ 市民からという事だが議員はどのように考えているのか
- ・ 議員の意見としてはどうか
- ・ デメリットの反対意見は何なのか
- ・ 議員は市民から選ばれているので議員の意見を聞いたらどうか
- ・ 議員は市民のためというが、市民のためになっているのか
- ・ 是非同時選挙を行うべき
- ・ 書かれている以上のデメリットがあるのではないかな
- ・ 14 名の議員の内 2 人が反対しても決定するのではないかな
- ・ 同時選挙を考えないという反対する人の意見を聞くのはどうか
- ・ 同時選挙をする場合は期間を長くし、内容の充実を図っては
- ・ オンラインの利用はどうか
- ・ 報告会に女性の参加が少ないので、参加者を多くするためにはどうしたら良いのか検討して欲しい



(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 5 月 20 日	開催時間	19：00～20：10	
実 施 場 所	生きいきプラザ第 1・2 会議室			
参 加 人 数	22 名			
出 席 議 員	尾垣 和則	飯田 大	浅田 藤二	小川 多美子
	黒須 淳美	鈴木 優治	下山 祥二	波多野 靖明
	間野 みどり	青木 靖	三田 忠男	小長谷 順二
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答 3. 1・2 班に分かれて参加者によるワークショップ 4. ワークショップ意見発表 5. アンケート回答			
質 問 内 容	・せっかく同時選挙になっても首長の不信任等で二つの選挙がまた分かれてしまう事もあるのか ・平成 16 年の合併によって選挙がずれたのか ・総務省から同時選挙について干渉等があるのか ・大切な予算議会の途中で解散するのか、市議選の準備期間が足りないのではないか ・同時選挙について市長はどのように考えているのか ・他の自治体で否決になった理由は何か、市長の政策と議員の政策の違いが同時選挙だと分かりにくいのではないか ・同時選挙を望む市民の声が多かったのでこの議論を始めたのか ・市議選がずれたのは各町の決算認定を見届けるためとの事だったが他の理由もあったのか			
参加者意見	修善寺 1 班意見等（発表者 浅田議員） ・議員のなり手不足が顕著に表れているので、議員の魅力向上を優先しては ・選挙費用の削減は大賛成 ・地域のために若い人たちに期待する ・職員の負担軽減につながるので同時選挙を望む ・今回の活動で議員の状況が分かった ・市長の主張がわかる事が重要 ・選挙に係る人が増える事が大事 ・どうゆう理由でスケジュールが組まれているかが分からない			

- ・前に進めるには様々な情報を集めることが大事
- ・議員報酬を増やせば立候補者が増えるのでは
- ・財政改革で 1,270 万円の削減した予算を市民に向けて欲しい
- ・各議員の支援者等にも意見を伺って欲しい

修善寺 2 班意見等（発表者 小川議員）

- ・同時選挙になった場合、投票が複雑になり間違える事がなければよいが
- ・自主解散のハードルが高く否決されるのでは
- ・令和 10 年 3 月議会最終日に成立する可能性があると考えているのか
- ・決議がひっくり返ることもあるのでは
- ・市長と議員の間にねじれが発生するのではないかと
- ・市民アンケートの結果をどのように生かしていくのか
- ・本日の参加者は分かりやすく理解したが、他の市民にどのように周知するのか
- ・政治を変えるには市政の力が必要
- ・議会だよりには興味がない事が多い
- ・三島周辺の政治に関する広報に関心がある
- ・経費削減のため、同時選挙が良い。そのお金を市民のために使ってほしい
- ・選挙立会人が大変なので、選挙の回数は少ない方がよい
- ・市議会に関心が無い人が多いのでコミュニケーションを取れる場所があったらよい
- ・ママさん達が出席できる時間帯を考えて欲しい



(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 5 月 27 日	開催時間	19：00 分 ～20：05	
実 施 場 所	土肥支所 4 階第 1.2 集会室			
参 加 人 数	12 名			
出 席 議 員	小長谷順二	飯田 大	三田 忠男	小川 多美子
	黒須 淳美	鈴木 優治	間野 みどり	波多野 靖明
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答 3. 1・2 班に分かれて参加者によるワークショップ 4. ワークショップ意見発表 5. アンケート回答			
質 問 内 容	・ 市民からの意見がきっかけで同時選挙の検討を開始したとの説明があったが市民の何パーセントの意見があったのか			
参加者意見	土肥 1 班意見等（発表者 黒須議員） ・ メリットは理解できるが、議員の賛成は得られるのか ・ R10. 3 月議会解散を推進してほしい…実現できると素晴らしいことだ ・ 選挙には行くものだと考え、毎回行くのが当たり前だった ・ お年寄りの町なので混乱が心配（誤記入）…デメリットは慣れてくるのではと思う ・ 先駆けて新しいことをするのは応援する（テラッセオレンジトイなどもそう） ・ 同時選挙には賛成…立会人、負担軽減など同じような事務をする無駄がある ・ 4／5 の賛成が、ハードルが高い…どう固めていくか気になる ・ 立候補の準備をしている人のモチベーションなど、解散が否決された時どうするか ・ デメリットは議会、事務方のやり方でカバーできると考えられる…議会機能の停止は気になる ・ 選挙費用は莫大だ。削減は良い ・ 高齢者が、足が痛いなどで選挙に行きたがらず連れて行くのが大変…回数が減るのは○ ・ 障害を持っている人（歩行器使用など）が「俺の一票はいいよ…」という考えの人もいるので回数が減るのは○			

- ・小さな声でも「市民の声」を拾ってくれる議員がいることに心強さを感じた（何%とか数値では測れないかもしれないが）
- ・同時選挙が実施できたとしても無投票になったら気になる
- ・信頼される議員…区長の時に草刈りなど地域の問題の解決にすぐに力を貸してくれた経験

土肥 2 班意見等（発表者 小川議員）

- ・今回の案はいつ頃から出たのか
- ・議員の定数も減ってきた今が良いと思うのか
- ・今の定数は 14 人だが、2 人以上が反対だったらボツになるのか
- ・お金も大切だが、市長選と市議選が一緒だと連呼でうるさい
- ・4 町合併で任期が 6 ケ月伸びた。1 回の選挙で 1 千万以上のお金が 6 回かかっている。同時選挙にしてほしい
- ・市議の定数は削減された。市議選挙は異常だなと感じるところがある
- ・報酬を上げるために議員定数を減らしたのか
- ・賛否に対しての公表をしてほしい
- ・合併当時になぜ今回のような話ができなかったのか
- ・19 日、20 日はどれだけの人数が参加したのか
- ・住民に周知していないと、同時選挙にならないのでは
- ・浜岡原発の影響、1、2 月に西風が吹いて椎茸に影響が出て困る。話し合いの席に市長等呼んでほしい
- ・避難タワーは冬の寒いときに、2、3 階は雨や風が強くて困るので何とかしてほしい
- ・選挙の時に賛否の公表をして、生の声を聞かせてほしい
- ・伊豆の人口減少を考えて将来を見る
- ・1,270 万円の使い方を上手に利用して人口を増やす方法を考える
- ・市長に立候補して落選、市議に立候補して当選。これはどうなのか



(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 5 月 28 日		開催時間	19：00 分 ～20：05	
実 施 場 所	天城湯ヶ島コミュニティセンター多目的ホール				
参 加 人 数	10 名				
出席 議 員	小長谷順二	飯田 大	三田 忠男	小川 多美子	
	黒須 淳美	鈴木 優治	間野 みどり	波多野 靖明	
	下山 祥二	青木 靖	浅田 藤二	尾垣 和則	
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答 3. 1・2 班に分かれて参加者によるワークショップ 4. ワークショップ意見発表 5. アンケート回答				
質 問 内 容	・ハードルとは、具体的に ・メリットとデメリットについて議長と議会改革推進特別委員長はどう思っているのか ・中伊豆・修善寺・土肥地区の説明会の参加人数は ・直近の沼津市と長泉町の選挙の投票率について ・選挙期日が不明確とはどういうことか				
参加者意見	天城 1 班意見等（発表者 浅田議員） ・市長選に立候補して、市議選に出る疑問 ・3 人反対の高いハードル ・経費節減のメリット…約 1,200 万円をどう使う。 ・議員定数が減っても運営はできるのか…議員のいないデメリット、市民の声を拾う、立候補し難くなる。 ・市民アンケートのやり方は？…議会だよりに挟む、多くの市民の声を拾う ・語る会は、ぜひやってもらいたい。（地元議員素晴らしい） ・市民の行政への関心が薄いのでは ・若い人達が立候補できる環境づくりが必要…報酬アップが若い人の立候補につながるのでは 天城 2 班意見等（発表者 尾垣議員） ・デメリットに関して、全てデメリットという訳ではない。（次に立候補したいと思う人には、事前にしっかり説明しておけば準備が				

	できると思う。) ・財政が厳しい中、経費の削減、1,270万円は大きい…これが一番大きい ・議員が骨を折って進めてもらいたい。(1回乗り越えれば正常に戻る) ・選挙回数が多いと選挙事務を行う職員の身内は大変なこともある。 ・同時選挙はやはり興味があるので投票率が上がると思う。 ・市の情報をどこで発信しているのか、市民が知る機会を作ってもらうことが大事(活字も大事) ・このようなワークショップ型で意見が聞けるのが良い。 ・自己犠牲をもっとアピールしても良い。 ・期日前投票をもっと促したら良い。(役員は大変だが…) ・今の議員が身を切って行う今のタイミングが大事
--	---

